

山鹿市民医療センター開放型病院広報紙

3月号

Yamaga Medical Center



発行所 山鹿市民医療センター 〒861-0593 熊本県山鹿市山鹿511番地 TEL 0968-44-2185(代) FAX 0968-44-2420

医療安全対策地域連携に係る相互チェックを実施しました

当センターでは、2018年から医療安全対策地域連携加算1の届出を行っております。施設基準として、届出を行っている他の医療機関と連携し、それぞれ少なくとも年1回程度、お互いの医療機関に赴いて医療安全対策に関する評価を相互に行うことが要件の一つとなっています。

今回、12月5日に阿蘇医療センターから甲斐 豊院長をはじめ医療安全を担当する6名の方にお越しいただき、医療安全対策の評価を行って頂きました。本年度の相互チェックは、転倒・転落防止策を重点課題とし今回作成した「転倒・転落防止策のチェックシート」を基に調査が行われました。

まず始めに書類調査にて、医療安全管理部門の役割、マニュアルの整備、個別部門における転倒・転落防止策の取り組みなどについて質問があり、当院の医療安全担当者が回答を行いました。次に、院内ラウンドにおいて外来・リハビリ室・2F病棟の医療安全環境や転倒・転落防止策の実施状況の調査が行われました。ラウンドの際は、実際の転倒・転落のリスク評価、多職種との情報共有、防止策の実施状



況について質問があり、理学療法士や看護師が回答を行いました。

総評として「当院でも取り入れていきたい内容も多く、大変参考になりました。」と御言葉を頂きました。当院への気付きとしては、①多職種による対策チームによる転倒・転落防止への取り組み②入院前から介入している転倒・転落防止策についての病棟への伝達③離床センサーの選択基準の作成への助言を頂きました。現在、更なる改善に向け、多職種による転倒・転落防止ワーキンググループを立ち上げ取り組んでいます。

今回の訪問調査では、3度目の訪問ということもあり、お互い和やかな会話の中で当センターが気付きにくい詳細な点についてもアドバイスを頂きました。阿蘇医療センターの皆様には、大変お忙しい中、当院までお越しいただき心より感謝しております。相互チェックの中で頂いた貴重なご意見などを基に医療安全対策の向上に繋げ、今後も阿蘇医療センターとの連携を大切に行きたいと思っております。(文責：医療安全管理室 宮本 裕子)



基本理念

いのち

地域住民の生命と健康への貢献

基本方針

山鹿市民医療センターは

- ① 患者さま中心の信頼される医療を行います
- ② 診療機能の充実に努め、質の高い医療を提供します
- ③ 地域の保健、医療、福祉の連携を推進します
- ④ 研修、研鑽に努め医療レベルの向上を図ります
- ⑤ 健全経営に努めます

CONTENTS

医療安全対策地域連携に係る相互チェックを実施しました… P 1
 当センターでは職員の積極的な資格取得を応援しています… P 2
 院内がん登録実務中級者の資格を取得しました… P 2
 内視鏡室の紹介…………… P 2
 医療最前線／第71回公開講演会のご案内… P 3
 外来担当医表 (3月) …………… P 4

当センターでは職員の積極的な資格取得を応援しています

資格取得により、本人のキャリアアップと同時に病院全体の医療の質が向上し、最終的には患者さまに還元できると考えています。2022年度に1名が「院内がん登録実務中級者資格」を取得しました。当センターが掲げる三つの重点目標である「がん診療」、「高齢者医療」、「予防医療」のすべてに関係する資格です。今後のさらなる活躍に期待しています。
(文責：病院事業管理者 別府 透)

院内がん登録実務中級者の資格を取得しました

2022年11月に、国立がん研究センターが認定する「院内がん登録実務中級者」の資格を取得しました。

全てのがん患者について、来院時情報や診断治療経過情報を診療記録から収集し登録するがん登録業務において、医師をサポートする院内がん登録実務者になるには、研修の受講と認定試験に合格する必要があります。私は2013年に初級認定者となりました。

院内がん登録実務者には、5大がんのみを対象とした初級と2年以上のがん登録業務経験を持ち全がんを対象とした病期分類を行える中級とがあり、中級の有資格者は国指定のがん拠点病院など限られた施設を中心に2022年4月時点で県内には18名でした。

当センターは、県指定のがん拠点病院であり、中級認定者の在籍が必須要件ではないこともあり、自分の知識や経験で受験するには難易度が高いと考えていました。しかし「国民の2人に1人はがんになる。」と言われており、当センターにも多数のがん患者がおられます。今後当センターにおけるがん診療も発展していく

中、幅広い症例に対する登録知識が必要になると同時に、診療情報管理しとしてのスキルアップを目指す中で次の目標を立てようと思いついて挑戦することになりました。

がん登録の認知度は低いですが、がんの実態を把握するための重要な業務だと考えています。

今後も研鑽を積み制度の高い情報を国に提供することで、がん診療やがん対策の発展に貢献できるよう努めていきたいと思っています。

(文責：医療情報管理室 水田 愛)



内視鏡室を紹介します

当センター内視鏡室では、内視鏡専門医をはじめ消化器内科医師3名と看護師6名(うち消化器内視鏡技師4名)が勤務しており、専門医を中心に外科と連携し、内視鏡検査に取り組んでいます。

当センターで受けられる検査は、上下部内視鏡検査(胃カメラ：2,700件/年・大腸カメラ：900件/年)、上部超音波内視鏡検査及び穿刺吸引術(EUS・EUS-FNA：200件/年)、内視鏡的逆行性膵胆道造影(ERCP：270件/年)、ポリープ・早期癌などの内視鏡切除術・内視鏡的止血術(200件/年)、ステント留置術、胃瘻増設術(PEG)など多岐にわたります。

内視鏡検査は、消化器がんの早期発見に役立つことからその需要が高く、昨今は消化器疾患の診断に留まらず、治療においても目覚ましい進歩を遂げています。早期がんやポリープなどは、短時間



で切除でき低侵襲であるため、今後の発展が期待され、当センターでも検査・治療を受ける患者数が年々増加しています。1日当たりの検査予約枠は設けていますが、緊急性が高い症例の場合は、状況により柔軟に対応しています。

当センターでは、2023年1月末より次世代の内視鏡システム「EVIS X1」が導入され、今後更にごんなどの消化器疾患の早期発見、早期診断、低侵襲治療に貢献できるのではないかと考えております。また、新型コロナウイルス感染症が拡大する中でも安心して検査を受けていただけるよう感染対策を万全にして対応しております。

内視鏡検査を「きつい、怖い」と思われている方も多いと思いますが、当センター内視鏡室では、安全に安心して検査や治療を受けていただけることを第一に、スタッフ一同レベルアップに努めて参りたいと思います。

(文責：内視鏡室 副看護師長 江藤 千鶴)



医療最前線 (146)



糖尿病診療をとりまく環境は大きく変化している

代謝内科

川崎 修二

糖尿病診療はもはや血糖降下のみならず付加価値が求められる時代であり、最新の知見を取り入れることが重要です。

2022年9月、日本糖尿病学会から「2型糖尿病の薬物療法のアルゴリズム」が公表され(無償ダウンロード・印刷可能)、Step1:病態に応じた薬剤選択(非肥満or肥満)、Step2:安全性への配慮(低血糖リスクの高い高齢者、腎不全患者、心不全患者)、Step3:Additional benefitsを考慮すべき併存疾患(慢性腎臓病、心不全、心血管疾患)、Step4:考慮すべき患者背景(アドヒアランス、コスト)をあげています。2022年11月には、日本糖尿病対策推進会議から「糖尿病治療のエッセンス2022年版」が公表され(無償)、最新の薬剤情報についてアップデートされたとともに、初回治療時の注意点と手順として先述のアルゴリズムを引用・解説、さらには糖尿病専門医、腎臓専門医などへの紹介基準が明示されています。毎年発行されている「糖尿病治療ガイド」(日本糖尿病学会編)とともに日常診療にお役立ていただければ幸いです。

高血圧治療についても、最近では従来のCa拮抗薬、ACE阻害薬、ARBなどにとどまらず、MRA(ミネラルコ

ルチコイド受容体拮抗薬)の腎保護効果が注目されたり、心不全治療薬として登場したARNI(アンジオテンシン受容体ネプリライシン阻害薬)が高血圧の適応を取得したり、大きく変化しています。脂質に関しても、日本動脈硬化学会から「動脈硬化性疾患予防ガイドライン2022年版」が発表されており(無償、印刷は不可)、糖尿病患者の一次予防におけるLDL-Cの管理目標値は従来120mg/dl未満でしたが、糖尿病患者で末梢動脈疾患、細小血管合併症、喫煙がある場合は100mg/dl未満に引き下げられました。また、随時(非空腹時)の中性脂肪の管理目標値175mg/dl未満が新設されました。さらに、二次予防(LDL-C管理目標値100mg/dl未満)の対象として冠動脈疾患に加えアテローム血栓性脳梗塞も追加され、二次予防の中でも糖尿病などを合併する患者はLDL-C70mg/dl未満が管理目標となりました。簡単に自動計算できる動脈硬化性疾患発症予測・脂質管理目標設定アプリが無償提供されているのでご活用ください。

(Web版:https://www.j-athero.org/jp/general/ge_tool2/、スマートフォン用は下記からダウンロード)



第71回公開講演会のご案内

(日本医師会生涯教育講座 1単位)

取得カリキュラムコード 番号・コード名

19.身体機能の低下

下記により第71回公開講演会を開催いたします。多数ご参加くださいますよう御案内申し上げます。

鹿本医師会会長 幸村 克典
山鹿市病院事業管理者 別府 透

記

日時：令和5年3月10日(金) 19:00～
形式：ハイブリッド方式(オンライン参加or会場参加)
会場：オンライン参加 / Zoomミーティング
会場参加 / 山鹿市民医療センター1階医療研修センター
演題：「ロコモティブシンドロームと運動器不安定症
(骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン)」
司会：山鹿市民医療センター 院長 高木 茂 先生
演者：山鹿市民医療センター
整形外科 中原 達秀 先生

参加費：無料

【参加要領】 下記参加URL、又は参加QRコードから御参加ください。

(参加URL) : <https://zoom.us/j/97867623210>

(参加QRコード) ⇒

ミーティング ID : 978 6762 3210

パスコード : 719138



※ミーティングに参加される際の【名前】欄には、必ず「氏名」と「医療機関名」を御入力ください。

※快適に御視聴いただくため、イヤホンやヘッドセットの御使用をお勧めいたします。

お問い合わせ先 📍 山鹿市民医療センター

地域医療連携室 宮園、深水

TEL:0968-44-2185(内線769) FAX:0968-44-0071

※共催：鹿本医師会

山鹿市民医療センター医療研修センター運営委員会

外来担当医表

3月

診療科名	月	火	水	木	金
呼吸器内科	※御任 玲美	※猪山 慎治	※後藤 英介	—	※後藤 英介
腫瘍内科	—	—	—	—	宮本 英明
消化器内科	上野 茂紀 (本原 利彦)	富口 純	本原 利彦	富口 純 (上野 茂紀)	本原 利彦
内分泌・代謝内科	川崎 修二	—	川崎 修二	—	川崎 修二
循環器内科	大庭 圭介 清水 博	大庭 圭介 清水 博	清水 博 大庭 圭介	※小國 哲也 担当医 (予約のみ)	大庭 圭介 清水 博
整形外科 (紹介外来制)	高木 茂 横田 秀峰 山元雅典/中原達秀	工藤 智志 山元 雅典 中原 達秀	手術 (担当医)	高木 茂 工藤 智志 横田 秀峰	手術 (担当医)
外科	別府 透 石河 隆敏 織田 枝里	手術 (担当医)	別府 透 石河 隆敏 (織田 枝里)	手術 (担当医)	別府 透 石河 隆敏 山村 謙介
乳腺外科	—	※富口 麻衣	—	—	—
泌尿器科	—	非常勤医師	—	*非常勤医師 神波 大己 教授 (第1・3・5)	—
小児科	※石井 真美 9:00~16:30まで	※徳永 郁香 (小児一般・ アレルギー外来)	※石井 真美 9:00~16:30まで 予防接種(午後)	※石井 真美	※徳永 郁香 (小児一般・ アレルギー外来)
セ ン タ ー 感 覚 器	耳鼻咽喉科	—	非常勤医師	非常勤医師	—
	眼科	木山 優	木山 優	木山 優	木山 優
産婦人科	※片淵美和子 (午後)	※片淵美和子 (午後)	—	非常勤医師 *片淵美和子(午後)	非常勤医師
緩和ケア内科(予約制)	織田 枝里	堀 和樹	織田 枝里	堀 和樹	—
総合診療科	吉岡 明子	—	吉岡 明子	—	吉岡 明子
救急外来	外科医(午前) 整形外科医(午後)	吉岡 明子	大庭 圭介(午前) 清水 博(午後)	吉岡 明子 消化器内科医	外科医(午前) 担当医(午後)
健診	坂田 和子 石河 隆敏	川崎 修二	堀 和樹	—	佐々木 剛

◎診療時間は8:30開始で11:00(小児科は16:00)受付終了となります。
 当日の受診に関する相談を除く電話は、14時から17時が受付となります。
 ※ 非常勤医師です。 * 第2、第4のみ診療となります。

特殊・専門外来

3月

名称	担当医等	実施日	診察場所
外来化学療法(予約制)	担当医 宮本 英明	毎週 火曜・水曜 毎週 金曜(がん薬物療法専門医)	各診療科
禁煙外来(予約制)	坂田 和子	毎週 月曜(午後)	Aブロック
睡眠時無呼吸外来	坂田 和子	毎週 火曜・木曜(午後)	
小児科予防接種	※石井 真美	毎週 水曜(受付時間13:30~15:30)	
ストーマ外来	担当医	毎月 第3水曜(午後)	Bブロック
女性外来(婦人科、思春期、更年期)	※片淵美和子	3/6(月)、7(火)、9(木)、13(月)、14(火)、20(月)、23(木)、27(月)、28(火)	
PEG外来	担当医	毎月 第2水曜(午後)	
両親学級(予約制:産婦人科)	助産師	第2・第4木曜日(13:30~15:30) ※産婦人科へお尋ねください。	5階病棟
セカンドオピニオン外来(予約)	各専門医が担当します。詳細はホームページをご覧ください。 予約については地域医療連携室にお尋ねください。		

◎特殊・専門外来については、各診療科にお尋ねください。
 ◎急患の場合は、この限りではありません。
 ご注意：学会等の都合で変更になる場合があります。
 ◆最新の担当表は、ホームページをご覧ください。

山鹿市民医療センター
 〒861-0593 熊本県山鹿市山鹿511番地
 TEL(代表)0968-44-2185 FAX 0968-44-2420
<http://yamaga-medical-center.jp>